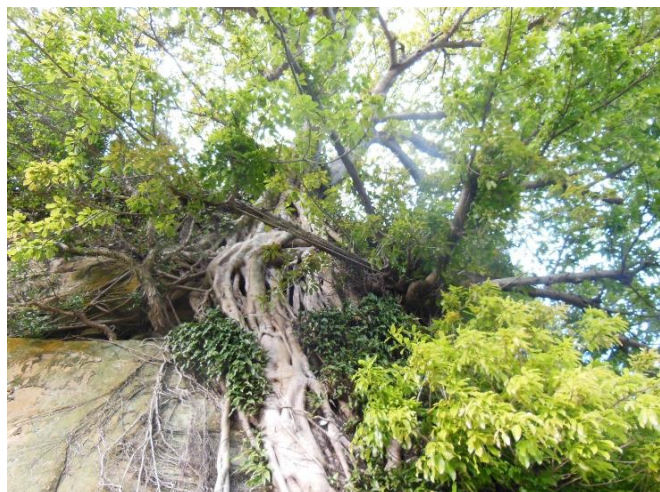


国指定天然記念物 高串アコウ自生北限地帯



種別	国指定天然記念物
所在地	唐津市肥前町高串 Google Mapで表示
指定年月日	昭和3年（1928）1月18日

アコウは台湾や東南アジアから九州・四国など温暖な地域に分布する半常緑高木です。3～4月ごろに新葉を出す前に一度落葉します。高さに対して、横にも大きく広がるのが特徴です。

高串のアコウは高串湾の入り江となった海岸近くで、切り立った砂岩の岩壁上に大小10数株のアコウが点在する自生分布の北限となる地点となります。大きいものは樹齢180年ほどと推定され、樹高7メートル、枝張り5メートルにも及びます。

高串のアコウはアコウが人間の手を借りず自然に増え生育していること、自生地が日本でも北側に分布していることが評価され、昭和3年1月18日に国の天然記念物に指定されました。

高串アコウも含めたアコウという樹木は佐賀県では準絶滅危惧種とされています。



問い合わせ

生涯学習文化財課

〒847-0013 佐賀県唐津市南城内1番1号

大手口センタービル6階

電話番号：0955-72-9171